



菅生学園報

第12号 2023年5月号



理事長メッセージ



理事長
島田 幸成

＝ 新年度スタート～本年度より、中等部一学年から一貫進学コース設置～ ＝

新年度がスタートしました。コロナ禍も次のステージに移り、もとの日常に少しずつ戻って参りました。関係者各位のご健勝をお祈りいたします。

さて、本年度より、一貫進学コース(中等部一年生)がスタートしました。このことについて触れたいと思います。

分かりやすく端的に申し上げますと、菅生学園では、学園の一貫教育を①高校募集からの3年間のコース、②中等部募集からの6年間のコース、そして、③初等部募集からの12年間のコース(初等6年、中高6年)と児童生徒が菅生学園で学ぶそれぞれの期間に応じ、発達段階を考慮しつつ教育内容を整理しました。

これにより、先に設置した中等部の医学難関大コースとともに、今回設置する中等部の一貫進学コースは原則6年間を通じて学びの城校舎において教育活動が展開されます。生徒は6年間一貫したカリキュラム及び教育スタッフのもとに、自分の希望する進路に向けて学業、クラブ活動などに取り組むことになります。(クラブによっては、高校生徒合同、高校校舎施設利用もあります。) 初等部、中等部の児童生徒はこれまで以上に一貫した教育体制のもと、安心して学園上部校に進んでいただけるものと確信しています。

菅生学園では毎月一回、教育コンサルで定評のある森上教育研究所の森上展安先生をはじめ、外部有識者も加わっていただき、一貫教育検討委員会を開催しています。また、今回は特別に、中高一貫カリキュラム検討プロジェクトを学内に組織、開催して、カリキュラムなどを検討しています。菅生学園では学園内での部門間連携はもちろんのこと、東海大をはじめ、学園外の提携グループ教育機関・関係者との連携も密にして菅生学園独自の一貫教育を進めていくことが、本学園の最大の強み・メリットと考え、初等、中等、高校、それぞれの部門のコース内容、カリキュラムなどを随時、検討計画しています。

こうした取り組みを通じて、時代を担う児童生徒の皆さんの夢や目標を実現するため、先進的な教育環境を整備充実していきたいと存じます。関係各位のご理解ご協力をお願い致します。

多摩学院幼稚園 閉園式

＝ 感謝の思いとともに52年の歴史に幕 ＝

3月18日、認定こども園多摩学院幼稚園の閉園式が行われ、52年の歴史に幕を下ろしました。12名の園児を見送った卒園式に続いて行われた閉園式には、羽村市長はじめ多数のご来賓のご臨席を賜りました。式では卒園児代表の鈴木様が「多摩学院幼稚園の思い出」をお話しくださり、菅生高校吹奏楽部による記念演奏も行われました。また、島田洋子副理事長が感謝の思いを込めて独唱しました。

多摩学院幼稚園は「遊び、創り、学ぶ」の教育理念のもと、リトミックや様々な創作活動、英語や算数教室など、常によりよい幼児教育を目指し、実践してきました。そして、52年の歴史の中で2,020名の園児が力強く羽ばたいて行きました。

学園教職員一同、これまで多摩学院幼稚園の教育への多くの皆さまのご理解、ご支援に心から感謝申し上げますと同時に、この伝統を菅生学園初等学校、菅生高校中等部、菅生高校が引き継ぎ、よりよい教育の実践に全力を挙げる覚悟を新たにしました。



島田幸成理事長挨拶



仲野三千代園長挨拶



橋本弘山羽村市長挨拶



卒園児代表鈴木元康様挨拶



菅生高校吹奏楽部アンサンブル



島田洋子副理事長独唱

卒業式特集

菅生学園初等学校



卒業生：15名

3月16日、4年ぶりに在校生も出席して卒業式が行われました。みんなで別れの言葉と合唱をし、恒例となった6年生作詞によるオリジナル曲の歌唱も行いました。

菅生高等学校中等部



卒業生：74名

3月15日に26期生の卒業式が行われました。式に参列したし花のアーチで卒業生を送り出した2年生は、先輩たちからのバトンをしっかりと受け取ったことでしょう。

菅生高等学校

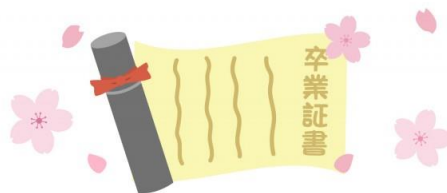


卒業生：399名

3月7日、第38期生の卒業式が行われました。今年は保護者1名限定でコロナウイルス感染前の形式で実施しました。来賓として近隣の中学校校長先生も式を見守ってくださいました。



ご卒業おめでとうございます。
次のステップでも元気いっぱい
活躍されることをお祈りします。



入学式特集

菅生学園初等学校



入学生：21名

4月7日、元気いっぱいの1年生が入学。緊張しながらも、大きな声で返事や挨拶していました。教室では素敵な黒板アートが新1年生をあたたかく迎えました。

菅生高等学校中等部



入学生：67名

4月7日に行われた入学式では、新入生の代表生徒が人や文化への好奇心旺盛な宣誓をしてくれました。

菅生高等学校



入学生：365名

吹奏楽部が素晴らしい演奏を披露する中、菅生高校での新しい生活に期待に胸膨らませる新入生を迎えました。



ご入学おめでとうございます。
皆さんの菅生学園での日々が充実したものとなるようお祈りします。
教職員は全力でサポートしていきます。



選抜高校野球大会出場特集

菅生高校硬式野球部は2年ぶり5回目となるセンバツ出場を果たし健闘しました。

監督 上 田 崇

センバツ出場に関して、保護者の皆様また、在校生、卒業生の皆様、教職員の方々等の多大なるご支援ご声援、ご協力ありがとうございました。おかげさまでベスト8進出という結果を残すことができましたが、まだまだ課題が残る大会でした。引き続き日本一を目指し精進いたします。今後とも熱いご声援をよろしくお願いいたします。

部長 田 中 聡

この度の2年ぶり5回目となります第95回記念選抜高等学校野球大会出場に際しましては、多くの皆様より多大なるご支援をいただきまして誠にありがとうございました。

声出し応援が4年ぶりに解禁され、その中でプレーした選手たちはいつも以上にハツラツとしたプレーを見せてくれました。改めて、応援していただけることに感謝の気持ちを持ち邁進していきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

選手一同

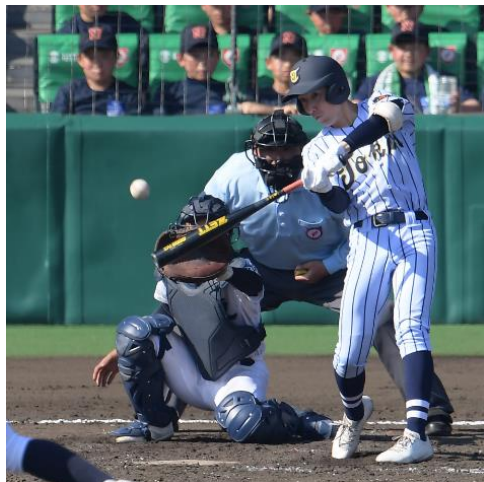
選抜大会ではあたたかいご声援ありがとうございました。4年ぶりに声出し応援に戻り、私たちにとっては初めて応援がある中での大会でした。応援に後押しされ勝利をあげることができました。厳しい練習を積み重ね、夏の甲子園で日本一をとれるよう頑張ります。今後とも応援をお願いいたします。

開会式 3月18日

3月22日（2回戦） 菅生高校 5－2 城東（徳島）

3月28日（3回戦） 菅生高校 1－0 沖縄尚学（沖縄）

3月29日（準々決勝） 菅生高校 1－6 大阪桐蔭（大阪）



菅生学園初等学校

校長メッセージ



下平 孝富校長

=VUCA時代にたくましく生き抜く人材育成のスタートラインとして！=

新一年生を迎えて、校舎内には元気な声と明るい雰囲気が漲ってまいりました。一方でウクライナ問題の膠着など世界情勢は混迷し、本格的なVUCA時代の到来を感じます。初等学校は、そんな時代を担う人材育成のスタートとなる大切な6年間となります。今年度は、本校独自の教育「ゆたか」の授業の充実、進化したプログラミング教育を目指してプログラミングを用いた授業の組み立てを行います。また、VUCA時代に最も必要な力となるコミュニケーション能力を「特別活動」を用いて養成できるという仮説検証のため、研究を継続してまいります。このテーマには2021年度から取り組んでおり、児童には相手の立場を慮った発言が顕著になってきているなどの変化を感じております。夏の学園研修において中間報告の上、広く学園教職員のみなさまにも参観いただきたく計画しております。12年を見据えた一貫教育のスタートラインとしての重責に真摯に取り組む年度としてまいります。

トピック

=劇と音楽の会の開催=

3年ぶりの開催となった「劇と音楽の会」。子どもたちはもちろん保護者の皆様もとても楽しみにしていました。合唱・合奏・劇・歌舞伎など各学年とも日ごろの練習成果を大いに発揮し、会場からは大きな拍手が送られました。また、すがめきーFの日本舞踊・バレエ・チアダンス・合唱も披露され、歓声に沸きました。

3年ぶりに子どもたちの歓声が響きました



活動報告

1 / 7 始業式
1 / 11 書初め大会
1 / 14 もちつき大会
1 / 16 スキー教室（儒恋）
1 / 20 英語検定
1 / 25 避難訓練
1 / 28 漢字検定

2 / 4 入学児保護者会
2 / 9 東初協一斉研修会
2 / 18 劇と音楽の会
2 / 27 ~ 保護者会週間
3 / 7 ~ 個人面談
3 / 11 縦割りウォーキング
3 / 16 卒業式
3 / 18 修了式

4～7月の活動予定

4 / 6 始業式
4 / 7 入学式
4 / 10 保護者会週間
4 / 13 第1回避難訓練
4 / 17 写生会・個人面談週間
5 / 2 全校集会
5 / 13 父母の会総会・スッガニア(プログラミング)
5 / 27 運動会
6 / 2 東初協一斉研修会
6 / 10 スッガニア(イングリッシュ)
6 / 17 螢のタベ

6 / 20 ~ 6年生修学旅行（京都・奈良）
7 / 1 スッガニア(ネイチャー)
7 / 4 東初協一斉研修会
7 / 6 ~ 個人面談週間
7 / 14 終業式
7 / 17 ~ グリーンスクール（3～5年生）



菅生高等学校中等部

校長メッセージ

下平 孝富校長

＝生徒・保護者のご期待とご信頼に応える1年に！＝

新しい制服を着て元気に登校してくる新入生と一年先輩になった二年・三年生の少し大人びた表情が交錯する頃、校舎内にも活気が漲ってきております。今年度からの中等部新入生は、医学・難関大コースと一貫進学コースの完全6年一貫教育の生徒たちということになります。授業内容ばかりでなく行事関係など6年間一貫だからこそないうる教育へのシフトを進めてまいりたいと思います。6年間という長いスパンを用いた継続的な教科指導、進路指導等を実践してまいります。昨年度末に行った生徒による授業評価アンケートと保護者対象の満足度アンケート結果によれば、「学級担任のクラス把握」、「行事によるクラスの連帯感の醸成」、「面倒見の良さ」等に満足度が高く出ています。しかし、私共教職員にとって最もうれしいのは、「この学校に入学して良かった」に特に高い評価をいただいている点です。これらのご期待とご信頼に益々応えられる一年としたいと思います。

トピック

3年ぶりに初等学校の「劇と音楽の会」が開かれ、児童が練習してきた歌や楽器演奏、ダンスを披露しました。中等部からも、東京都中学校アンサンブルコンテストで金賞をいただいた吹奏楽クラブの演奏とUSA大会の地区大会を通過して来月に全国大会に出場するチアダンスクラブの演技をご覧くださいました。

初等学校の皆さんと楽しい時間を過ごしました



活動報告

1 / 7	全校集会	2 / 1	第1回入試	3 / 2	3年生地域清掃
	学校説明会	2 / 2	第2回入試		2年生野鳥観察
1 / 10	2, 3年生GTEC	2 / 4	第3回入試	3 / 3	3年生卒業遠足
1 / 20	英語検定	2 / 6	第4回入試	3 / 15	卒業式
1 / 21	総合学習 2, 3年生	2 / 7	1, 2年生外部試験	3 / 18	修了式
1 / 27	文章力検定	2 / 11	入学準備説明会	3 / 27	新入生招集日
1 / 28	漢字検定	2 / 20～24	学年末試験		

4～7月の活動予定

4 / 6	始業式	6 / 2	生徒総会
4 / 7	入学式	6 / 10	理科実験教室
4 / 11	新入生歓迎会	6 / 14	授業公開
4 / 12	スポーツテスト	6 / 15	芸術鑑賞教室
4 / 25～27	校外学習	6 / 17	学校説明会
5 / 7	学校説明会	7 / 5～7	期末試験
5 / 11	自然観察教室	7 / 16	オープンスクール
5 / 20	学校説明会	7 / 18	全校集会
5 / 24～25	中間試験		



菅生高等学校

校長メッセージ



峰岸 英仁校長

－ 矛盾する事項の両立－

働き方改革が3年目を迎え、労働時間の管理については軌道に乗りつつあると捉えている。働き方改革においては、今までの価値観や信条の転換を迫られている。規定の時間よりも長く働くことが美德であるなどは否定されなければならない。一方で、「主体的で対話的で深い学び」を実践する質の高い授業が求められ、観点別評価など、従来よりも労力を要する業務も増えている。また、物価は上昇しているが、経費については可能な限り効率化をはからなければならない事情もある。私たちはこのような矛盾を抱えている。

様々な矛盾への対処について、私自身は時間という「資源」を活用して乗り越えてきたが、今ではそれができない。工学の世界では「馬力の向上と燃費の向上」などの矛盾する課題を技術革新で解決してきた。その場合、当事者の技術だけでなく、他分野で開発された材料・素材が役立っている場合も多い。

例えば、今までは印刷・配布・回収・入力・集計を要していたアンケート等の調査も、Formを使えば手間をかけずに実施できる。さらに、今年になって人工知能ChatGPTも利用できるようになった。このようなICTのツール・サービスの活用が、本校における矛盾の解決につながるイノベーションの起爆剤になると考えている。

トピック

＝部活で活躍＝

吹奏楽部 第46回全日本アンサンブルコンテストにおいて銀賞。硬式テニス部 第45回 全国選抜高校テニス大会団体戦ベスト8。



＝HIP報告会開催＝

3月3日 東海大学高校生用のハワイ中期留学（SHIPプログラム）ハワイ東海インターナショナルスクールカレッジで24日間学んできた3名の3年生が報告会を開きました。スライドを作成し、英語で発表しました。3人とも素晴らしいプレゼンテーションをしてくれました。英語だけでなく、コミュニケーション力や理解力、自信を持って発言するなど多くのことを学んできたことが見えました。4月からの大学生活にも生かせる貴重な体験ができたことでしょう。



活動報告

1 / 7	全校集会	2 / 10	第一回一般入試	3 / 2	追加入試
1 / 22	推薦入試	2 / 11	第二回一般入試	3 / 4	併願者入学手続き
1 / 27	推薦者入学手続き	2 / 15	第三回一般入試	3 / 7	卒業式
		2 / 18	一般入試入学手続き	3 / 12	新入生登校日
				3 / 18	修了式

4～7月の活動予定

4 / 6	始業式	6 / 15	芸術鑑賞教室
4 / 7	入学式	6 / 17	第1回授業公開
4 / 15, 22	保護者会	7 / 3～6	定期試験B
5 / 8～13	1学年校外学習 (婦恋研修センター)	7 / 18	全校集会
5 / 13	2年生保護者会	7 / 19～21	サマースクール
5 / 23～26	定期試験A	7 / 22	第1回学校説明会



菅生 STEAMチャレンジ (7)

STEAM教育 ⇒S(Science 科学)、T(Technology 技術)、E(Engineering 工学)、A(Art 芸術)、M(Mathematics 数学)
このコラムでは、菅生学園の各校が取り組む様々な特徴あるSTEAM教育をご紹介します。
今回は菅生高校自然科学部の活動を紹介します。

自然科学部では各学年で研究チームを作り、生徒自身が決めたテーマについて研究を行っています。各チームで志向が異なるため、そのテーマの方向性も物理分野・化学分野・生物分野・地学分野と多岐にわたります。興味を持ったことについて、仮説を立て実験を行い、大学の研究室と同じように研究発表を行っています。

昨年度は「ミジンコのふ化の最適条件の検討」「プラナリアの走性の優先度について」の2つのテーマで進めていきました。指導にあたっては、生徒が主体的に活動し「やらされている」と感じる事が無いように留意しました。現在部員は、自分たちの仮説の後ろ盾となるような文献を探し、英語で書かれた論文も内容を理解しようと努力しています。今後は英語で研究発表ができるようになることを目標にしています。部員共々今後の活動への応援をよろしくお願いいたします。(菅生高校：伊藤 慎)

<2022年度実績> ①第13回坊ちゃん科学賞論文コンテスト 奨励賞
②第16回高校生理科研究発表会 口頭発表
③横浜薬科大学薬学部薬科学科研究発表会 高校生発表の部
最優秀生物学賞 : 2年生研究チーム
最優秀発生物学賞 : 1年生研究チーム
④東京私立中高協会主催 生徒理科研究発表会 口頭発表
⑤web媒体「サイエンス学びラボ」に記事掲載
<https://science-manabi-lab.com/topics/t-article16/>

<各テーマ研究概要>

- ・ミジンコのふ化の最適条件の検討(筆頭著者 3-6-19 越智 崇行)
ミジンコは水生生物の代表として多くの教科書に掲載されており、顕微鏡で観察するなどの実験が行われている。しかし、ふ化するタイミングが使いたいタイミングと合わない、ふ化したもののすぐに死滅してしまった等の問題が挙げられる。そこで、本研究チームではミジンコがどのような環境であれば早く産まれるのか、またどれだけ長期間生存可能なのかを研究した。
- ・プラナリアの走性の優先度について(筆頭著者 2-10-12 高橋 更紗)
プラナリア(*Dugesia japonica*)には著しい再生能力と、負の光走性と負の重力走性があることが知られている。そこで、私たちは、目の有無による光に対する反応と、光走性と重力走性の優先度について研究するに至った。この研究で得られた結果は再生医療などにも活用できると期待される。



千葉大学で行われた「高校生理科研究発表会」にて研究チームが口頭発表をしました。大学の先生方からの様々な質問やアドバイスは部員達へのよい刺激となりました。



菅生のひとこま (6)

《菅生の春》

緑豊かな菅生学園の春は次々と咲く花々に彩られます。今年は桜の開花が早く、菅生高校の正勝坂の満開の桜が選抜高校野球大会に出場する硬式野球部の選手たちを見送りました。学びの城では新入生を待つ静かなキャンパスに桜の花がひらひらと舞っていました。そして4月、美しい新緑が新入生を迎えました。

菅生高校 正勝坂



学びの城



編集後記



菅生高校硬式野球部は学園あげでの応援に応じて選抜高校野球大会でベスト8進出。新しい年度のスタートを切る学園の一人ひとりに大きな勇気を与えてくれました。

先日、菅生高校ではオンライン教材のInspire Highについての教員研修会が行われました。この教材は、世界の第一線で活躍する方々のレクチャーを聞いたり、同世代の意見に触れたりすることができるもので、生徒たちが自分の考えをまとめたり、振り返ることができます。混迷の時代を生きる子どもたちの「生きる力」を育めるよう、多摩学院幼稚園に始まった素晴らしい伝統を受け継ぐと同時に、新しいことにも臆することなくチャレンジする精神を大事に、一歩また一歩と前進していきましょう。